

# 第6学年 社会科学学習指導案

1 単元名 戦国の世から天下統一へ

2 単元指導計画

次	時	主な学習内容
1	1	長篠合戦図屏風などの資料を読み取る活動を通して、織田信長と豊臣秀吉の天下統一へ向けた様子をつかみ、単元の見通しをもつとともに、教科書・資料集と合わせてNHK for Schoolの動画クリップを用いて追究する。
	2	織田信長について「戦い方・政治・建造物・外国との関わり」の4つの視点を提示し、諸資料から天下統一へ向けた信長の動きをまとめる。
	3	豊臣秀吉について「戦い方・政治・建造物・外国との関わり」の4つの視点を提示し、諸資料から天下統一へ向けた秀吉の動きをまとめる。
	4	信長と秀吉の天下統一へ向けた働きについて調べたことを基にして、信長と秀吉のどちらが天下統一へ向けた働きが大きかったかについて、戦国の世が統一されるまでの2人の武将の業績から考察する。

3 本時について(4/4)

(1) ねらい

信長と秀吉の天下統一へ向けた働きについて、調べたことを基にして、信長と秀吉のどちらが天下統一へ向けた働きが大きかったかを話し合い、戦国の世が統一されるまでの2人の武将の功績が大きかったことを理解することができる。

(2) 評価規準

信長と秀吉の功績について調べたことを基にして、自分なりの意見を持ち、考えている。(思考・判断・表現)

(3) 学習展開

過程	学習活動	教師の指導・援助(留意点)
導入	1 本時の学習内容に問題意識をもつ。 4つの視点「戦い方・政治・建造物・外国との関わり」について調べたことを基にして、本時の課題を設定する。	・ホワイトボードに前時まで調べた信長・秀吉の政策について簡単にまとめておく。
	2 学習問題を確認する。 天下統一へ向けた働きが大きかったのは信長か、秀吉か。	【ICT活用の工夫】 ・NHK for Schoolの動画クリップを資料として活用し、4つの視点「戦い方・政治・建造物・外国との関わり」に応じた意見づくりに使用する。その際、課題との関連性を考えながら必要な動画を効果的に視聴できるようにする。
展開	3 グループ追究・交流 ・4つの視点「戦い方・政治・建造物・外国との関わり」に沿ってどちらが天下統一へ向けた働きが大きかったか交流する。	・タブレットを用いて調べた児童には、交流で相手に動画などを提示しながら説明できるようにする。
	4 全体交流 ・グループで出た意見を代表者が全体に発表する。	・グループ追究では、交流する仲間の説明が、本時の視点に沿っているかを確認し、資料の出所が明確になるように助言する。
終末	5 学習をまとめる。 信長の優れていた点は今までにない鉄砲を戦いに取り入れ、まちを発展させるための政策を行った。一方、秀吉は、検地によって収入を安定させ、刀狩によって身分を区別することで、武士が支配する仕組みを整えた。どちらの武将も天下統一へ向けた大きな働きをしていたと言える。	【ICT活用の工夫】 ・グループや全体交流の時に動画資料を提示することで、視覚的にイメージしやすいようにする。
	6 本時の学習を振り返る。 まとめプリントに本時の課題に対する自分のまとめを記述する。	